

## 8月5日（木）菊間会長記者会見（要旨）

このたび、JATA 会長に就任した菊間でございます。まずは、坂巻前会長のご逝去に接し、改めまして心よりお悔やみ申し上げます。

前会長の意志を引き継ぎながら、厳しい環境が続く中、この難局を乗り越え、新たな旅行業の時代に向かって、前に進んでいく所存です。旅行業界にとっては、ここからの一年は大変重要な一年であると強く認識しております。

まずは、感染が収束に向かうための協力をし、お客様と受け入れ側の安心安全を確保していくことが最重要ですが、4月、5月の旅行取扱額は、2019年比で、85%減、90%減と厳しい状態が続いており、この一年が正念場です。企業の存続に向けての応援、雇用調整助成金の特例措置の延長や、その後のサポート体制などに全力で立ち向かわなくてはなりません。

そのような中、ワクチン接種率が高まることが唯一の光であり、諸外国の実例を見ても、ワクチン接種がゲームチェンジャーになることは間違いありません。JATAとしては、海外、国内、訪日共にロードマップを作成し、再開に向けた具体的な準備を開始しております。ワクチンパスポートの活用による国際交流の再開、更には国内においても、行動制限の解除で社会経済活動が日常に戻ることを要望していきたいと考えております。

国際交流に関しては、半年後の再開を目途に、14日間の隔離の緩和や感染症危険度など、国際的視点で日本だけが交流再開に取り残されることのないよう働きかけていくと共に、海外旅行が戻るまでの間は国内旅行において、GoToの再開に関しても早期に実現してほしいと思っています。新しい制度設計に早く取り組んでいただき、長いタームでの運営を期待していますし、旅行会社としても新しいカタチを提案していきたいと考えております。

訪日旅行に関しては、順調に伸びていた2019年までJATA会員の取扱高は全体の20%にすぎない状況でした。再開の日を迎える際に求められるのは管理型ツアーです。JATAが有するツアークオリティジャパンは質の高い訪日旅行を志している50数社が加盟する会員組織です。再開後の訪日旅行を正しくリードし、世界に認知されシェアを伸ばしていきたいと考えています。

コロナ禍で観光が地域経済にとっていかに重要なものであるか再認識する機会になりましたし、旅というものが人々にとってどれだけ必要なものかも再認識されました。そして、世界各地が観光というものを立ち止まって考えなおす時間にもなりました。

世界の観光に対する意識の変化を捉え、サステイナブルな観光へのシフト、セーフティトラベルへの対策強化、地域活性化への対応を強化し、社会的役割を果たすことで存在価

値を高めるチャンスでもあります。旅行会社自体が従来のビジネスモデルを変化させ、コロナ後の諸問題に積極的に取り組み、旅行会社の存在感を示していくことが可能な時です。これは長年の課題であった低収益構造からの脱却につながることを考えます。

再開までの限られた時間で、しっかりとした新しい理念の構築と共に新しい時代の商品造成を進めていけるよう、JATAとしても、そのお手伝いをしていきたいと考えております。

- 1) 各社の経営安定のための活動
- 2) Go To の再開を含めた国内旅行の活性化、地域経済の活性化
- 3) 海外旅行・訪日旅行の再開
- 4) コロナ後を見据えた新しい観光への対応

会員各社の足元をしっかり固める協力と、将来に向けた健全な旅行業の発展に向けて尽力してまいります。JATA の考えと活動について、タイムリーに伝えていくことが、経営判断の何よりの指標になると思いますので、会員各社へのコミュニケーションを密にしていく所存です。

旅行業界にとって、極めて重要な一年です。皆様方のご協力、ご指導をよろしくお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。